

ケアハウスあじさい事業報告

(令和4年度)

基本方針より

「ケアハウスあじさい」での生き生きとした暮らしづくりに向けて、転倒骨折などの事故防止や介護予防活動、健康づくり活動に積極的に取り組んでいくとともに、入居者一人ひとりのアセスメントによる個別援助計画を作成し、質の高い個別ケアに取り組んでいく。

1. 生活環境作り

- ・ 季節に合わせた飾り物(しめ縄・鏡餅・ひな人形・五月人形・七夕飾り・クリスマスツリー等)を施設の共用の場に飾り、施設の庭で咲いている花や、時には購入した生花を置くなどし、入居者に季節感を楽しんでもらった。
- ・ 入居者は職員と一緒に相談しながら飾り付けをすることで、一体感を持ち共用場所の空間に関心を持っていただいた。
- ・ 昨年度、庭に動物の置物を置いたり花などのオブジェを飾ることで、入居者の憩いの場所として、庭にやすらぎと華やぎをもたらしたことを維持継続した。
- ・ 入居者からの要望もあり、女子風呂に背もたれ付シャワーチェアを一つ購入し増やすことで安心して入浴できる環境を整えることができた。
- ・ 施設建物の屋根の防水工事を行った。このことにより、設備や居住区域への漏水がなくなる。

2. 介護予防及び健康づくりへの推進・充実

- ・ 毎月行っているいきいきクラブでは、コロナウイルス感染症の流行により、外部からの講師を招いての講演会は中止とし、感染予防の対策をしながら折り紙を使って作品作りをしたり、体操や脳を使った運動をすることで、健康づくりに関心を持っていただくよう努めた。
- ・ 秋に行っているあじさいミニ運動会では、普段体操に参加されていない方も参加され、熱心にゲームに取り組みされていた。
- ・ コロナ禍でも、毎朝決まった時間にラジオ体操をすることで運動不足の予防にも繋がっている。

3. 地域化活動

- ・ 今年度もコロナウイルス感染症の流行により浦安小学校との交流行事が中止となった。
- ・ 地域交流での「あじさい夏祭り」は感染症予防のため地域の方との交流は行わず中止となった。
- ・ 「さくら」については今年度、コロナウイルス感染症の流行により開催されなかったが、定期的に連絡を取り様子をうかがった。また、屋外で集まる際には場所の提供（施設中庭）し声掛けなど行った。
- ・ 今年度から名前が変わった「キッズチャレンジ」（夏休みフリー塾）については昨年度と同

様コロナ感染予防の観点から、会場の提供は控えて、人員のみの協力として参加を計画したが、今年度は施設内で職員の感染者が出たこともあり参加を辞退した。

4. 感染症・食中毒の予防・まん延防止と健康管理

- ・ コロナウイルスに感染した家族と接触した2棟の入居者1名がコロナウイルスに感染してしまった。早急に拡大予防対策を行ったが、接触のあった職員3名と入居者4名が感染してしまった。感染者は居室で隔離し、対応する職員を限定し2棟を閉鎖することで感染が拡大しないよう職員間で情報を共有し、協力しながらマニュアルに沿った対策に努めた。また保健所、主治医からの指示を仰ぎながら感染者の体調を観察し、隔離生活が解除となるまで様子観察し保健所に報告をした。このことを今後の対策や業務継続計画（BCP）に生かしていく。
- ・ 外部のデイサービスに通われている入居者の中で、コロナ感染者と接触した可能性のある方がいた時は、施設内で感染症が蔓延しないために、念のためその方を隔離し、独自で早めに検査を行い全件陰性と確認できた。
- ・ 施設内でコロナウイルス感染症が蔓延しないために、今年度も民間検査センターと契約をし、即座に検査が出来る体制を維持した。
- ・ 今年度もコロナウイルス感染症が流行したこともあり、昨年度から引き続き感染症予防のために必要な内容を掲示し、毎月入居者には茶話会にて感染症予防についての啓発を行った。
- ・ 施設内研修においては、「感染症予防のための体調管理」「防護服の正しいつけ方」についての研修を行うことで感染予防に対する注意を促した。
- ・ 共用部分の手すりや取っ手の毎日の消毒と、来客者に向けた手洗いうがいのポスターでの啓発、自由に使って頂けるように玄関にマスクを置いて予防対策を行った。
- ・ 職員への感染症対策を徹底し、入居者、家族に施設での対応について、状況に応じてその都度書面でお知らせをした。また外部からの訪問者には面会制限させていただき、玄関入口には内容を掲示し感染予防を行った。
- ・ 食堂に空気洗浄機を置き、テーブルには飛沫防止のためのアクリル板を設置するなどし、感染予防に努めた。
- ・ 岡山市から配布された抗原検査キットにより毎週検査を行い報告をした。また体調不安時には、随時そのキットを活用した。
- ・ 定期健康診断(胸部レントゲン4月)、インフルエンザ予防接種(10月)の実施。
- ・ コロナウイルスワクチン接種(4回目 8月、5回目 11月)の実施。
(入居者・法人職員)

5. 事故防止対策の徹底

- ・ 施設設備の使用について、入居者から意見を伺う機会(茶話会)を作ることで、予防に向けた早期の対応を実施した。

- ・ 居室のナースコールの点検を毎月実地していくことで、緊急時の連絡体制に不備の無いように努めた。
- ・ 施設設備の不備による事故発生防止の「設備点検管理表」による定期的な点検ができなかった。来年度の課題として計画していく。

6. 栄養・給食

- ・ 毎月の給食委員会で入居者代表の方に参加していただき、給食についての率直な意見をうかがい、日々の食事に入居者の希望が反映されるようにした。
- ・ 食事アンケートを実施し、個々に給食に対しての意見を記入していただき、より詳細な給食に対しての意見を徴収できるようにした。
- ・ 季節に応じた行事食を行うことによって、昔ながらの風習を懐かしんでいただいたり、季節感を味わっていただいた。
- ・ 感染症予防、介護予防の観点から、栄養のバランスや喫食率に留意し、入居者の体力、免疫力の向上に努めた。
- ・ 新型コロナウイルスの影響で外出の機会が減っているため、外食メニューをテイクアウトして食堂で食べていただいたり、お弁当形式にしたりして外食の気分を味わっていただけるようにした。
- ・ 施設内で採れた青梅や文旦など衛生管理に気をつけながら入居者と一緒に処理をし、食事に使ってもらうことで、季節感や食事作りに参加する楽しみを味わっていただいた。
- ・ 献立の掲示版に飾り付けをしたり、事前に行事食のお知らせをすることで、給食に興味を持っていただけるようにした。

7. 職員の質の向上

- ・ 施設内研修については、新型コロナウイルスの感染状況でやむを得ず中止となった研修もあったが、少し落ち着いてきた後半の時期に外部講師を招いて研修を行うことができた。
- ・ 接遇・マナーの面では言葉使いや聞く姿勢を常に意識し、入居者やご家族との信頼関係を築けるよう心掛けたい。
- ・ ケアハウスという「見守り支援」の特徴から、状況判断を伴う臨機応変であり、かつ入居者や家族の立場に立った気配りが求められている「豊かな人間性」が今後の研修の課題である。

8. 2棟におけるグループホーム的ケア（認知症ケア）

- ・ 3月現在、認知症高齢者8名の心身状況となっている。2棟での支援が認知症ケアというだけでなく、広義での高齢者にとっての家庭的な空間での安心した生活を送っていただく場所となっている。
- ・ 1棟から2棟へ転居することにも取り組み、1棟入居者の安心にも繋がっている。
- ・ 少人数での生活で、それぞれが居心地の良い居場所となるように支援していく、役割を作

り出せるように、個別援助を明確化し具体的に行っていくことを課題としている。

- ・ 2棟で孤立した生活を送るのではなく、1棟に出向き歌の会に参加したり、1棟の方達と一緒に行事へ参加したりと交流を持ち、人との繋がりを持っていただく。
- ・ 入居者が外出をし、そのまま連絡も無く遠方の親戚の家に行かれる事案があった。家族、警察に連絡した結果、無事発見されたが、今後は外出時の声掛けや様子をうかがうことにより注意をしていくこととした。
- ・ 介護保険サービスを利用し、より安心して暮らしていただけるような工夫を行っていく。

9. 趣味・余暇活動実施

- ・ 園芸が趣味でお元気な方が施設の庭の草取りなどを不定期に行って下さっている。
- ・ 秋にはコロナ感染症予防に気をつけながら、岡山後樂園にお弁当を持って散策に出掛けた。天気も良く久しぶりの外出ということもありとても喜んでいただけた。
- ・ 今後コロナ感染症が落ち着けば、入居者が充実した時間を過ごせるように関心のあるクラブ活動を増やしていきたい。他にも来て頂ける講師やボランティア等、検討していくことが課題。
- ・ 今年度は新型コロナウイルス感染予防のために旅行やヨガ等、実施出来なかった行事もあった。押し花教室については、毎月先生と相談しながら状況に合わせて行った。

10. 職員体制 R3.3現在

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	管理栄養士
1名	1名	(正) 1名	(正) 3名 (非) 3名	(非) 1名

11. 防災

- ・ 年3回の避難訓練・消火訓練については3月にコロナウイルス感染症が流行したため、年2回の訓練実施となった。
- ・ 消化器を使用し消火の練習を行った。
- ・ 避難計画について今後も災害の種類に応じた計画を立てていく。
- ・ 災害時対応のため、ヘルメット、ライフジャケットに加えシュラフ（寝袋）を導入した。

12. その他

あじさいの会（ハッピーパートナー）茶話会（入居者全員と情報・意見交換）を毎月開催し、入居者間の親睦及び共同生活上での問題点等の改善に努めた。

13. 今後の課題

引き続きコロナ感染症対策で入居者には不自由をかけた。その中でもケアハウスらしい自立した生活を少しでも長く続けていただけるよう、プライベートな空間を確保しつつ、潤い

のある時間を過ごしていただけるよう出来る範囲で取り組んでいく。個別援助計画をより充実したものにするよう、直接対応したかどうかに関わらず職員全員で取り組み、日々のケアに繋げていきたい。また、入居者との信頼関係を築くために相手の立場に立って寄り添い、円滑にコミュニケーションをとることで、より深い本音や困りごとを聞きトラブルを未然に防いだり、体調面での変化にもいち早く気づけるよう意識していきたい。そのために入居者をしっかり観察し、傾聴する時間も取るようにする。

外部で行われる研修へもリモート研修などを利用し積極的に参加できるよう努めていく。勤務を調整してできるだけ参加できるようにしていく。

内部研修にもより力を入れ職員一人一人のスキルアップに繋げ、入居者の方が安心してよりよい生活を送っていただけるよう努めたい。

また、個人情報保護をしっかりと意識した適切な記録の書き方や伝え方を行い、職員間の連絡・相談を適時に行うことで情報交換をしっかりと行い職員間の連携の向上を図り、入居者や関係者への対応に他事業所との連携にばらつきの無いように努めていく。

備品の故障に適時対応していく。そのために安定した経営を行う。

自然災害や感染症などによる非常事態の際にも、事業の継続が出来るような計画を立てて、非常事態に備えていく必要がありその整備に取り組んでいく。

クラスターの経験をふまえて、業務継続計画（BCP）の策定を更にすすめ、訓練・研修に取り組んでいく。

3. 令和4年度 ケアハウスあじさい 事業報告(資料)

(1)平均年齢

R4.3.31

年齢	人数	平均年齢	最高齢	最低齢
男性	11	81	96	70
女性	26	85	98	67
計	37			

男女別年齢状況

年齢	男性	女性	合計
60～69	0	1	1
70～79	5	7	12
80～89	5	11	16
90～	1	7	8
合計	11	26	37

(2)入退居月別推移

月	入居	退居	退居理由	退居先
4	0	1	自立した生活を開始される	アパート
5	1	1	病気で亡くなる	
6	2	1	高齢によるADLの低下	老健
7	1	1	自宅に戻られる	自宅
8	1	0		
9	0	0		
10	1	1	ADLの低下と認知症の進行	グループホーム
11	1	1	ADLの低下と認知症の進行	サービス付高齢者住宅
12	0	1	病気の進行	労災病院入院中
1	0	0		
2	1	0		
3	0	0		
合計	8	7		

(3)介護保険サービス等利用状況(累計)

訪問介護

事業所名	R3	R4
あじさい	16	24
ひまわり	4	5
南ふれあい	0	1
我が家	1	0
ちやいむ	2	3
あゆむ	1	4
サンキ・ウエルビイ	1	1

訪問看護・リハビリ

事業所名	R3	R4
たんぽぽ	1	1
佐藤病院	1	1
あーくす	1	2
アミューズ富永		1
とみまち		1
まりな		1

デイサービス・デイケア

事業所名	R3	R4
ふるさと	11	10
愛光苑	1	0
どるちえ	5	4
アルフィック十日市	1	1
アイル岡南	1	1
ひだまりの里	1	1
塚崎整骨院	0	1
健リハビリ	2	2
リファイン	3	2
かおる	1	1
西市	1	1
ムーブメントプロ	0	1
ツクイ	4	3
万倍の里	1	0
やすらぎ	1	2
あゆむ	1	1
南ふれあい	3	2
美咲	2	2
みゆき	1	1
フロアール	1	2
コンパス	1	0
創心会	1	2
ほがらか	1	1
なみき	0	1

(4)要介護度

	R3	R4
自立	3	2
要支援1	0	1
要支援2	8	7
要介護1	13	12
要介護2	10	11
要介護3	2	2
要介護4	0	2
要介護5	0	0

(5)受診医療機関診療科目

診療科名		
内科	心臓外科	整形外科
呼吸器科	精神科	眼科
循環器科	心療内科	耳鼻科
泌尿器科	歯科	皮膚科

(6)救急・事故及び苦情解決状況

救急・事故

救急	4件	転倒 4
事故報告	13件	転倒 10、薬渡し忘れ 2、誤薬 1

苦情解決

日 時	苦情内容	解決策・結果
1件	発熱でデイサービス利用途中で帰舎された奥様を心配し、御主人に「変な病気でないと良いですね。」と表現し、その言葉にご立腹された。	誤解を招く表現をしたことについてお詫びする。奥様が発熱や入院することが時おりある方でご主人も気にされており、今後相手の心情を思った声掛けをさせていただきます。

(7)入院状況

性別	理由	入院先	入院～退院
男性	前立腺からの熱	労災病院	R4. 4. 18～25
女性	精神的不安定	慈圭病院	R4. 5. 19～
女性	脳梗塞の兆候	西大寺病院	R4. 5. 19～27
女性	低ナトリウム血症	労災病院	R4. 5. 29～6. 9
女性	肺投薬治療	労災病院	R4. 6. 28～7. 13
女性	体調不慮	セントラルシティ病院	R4. 6. 25～R5. 7. 17
男性	療養入院	慈圭病院	R4. 6. 30～9. 20
女性	肺治療	労災病院	R4. 7. 20～9. 9
女性	大腿骨ひび	日赤病院	R4. 9. 1～11. 3
男性	誤嚥性肺炎	労災病院	R4. 9. 5～20
女性	肺炎	労災病院	R4. 9. 16～22
男性	発熱	労災病院	R4. 9. 25～12. 11
女性	子宮離脱手術	労災病院	R4. 10. 3～11
女性	コロナ感染(入居前)	労災病院	R5. 2. 1～3. 15
男性	左足蜂窩織炎	セントラルシティ病院	R5. 2. 27～3. 31
男性	股関節下骨折	川崎総合医療センター	R5. 3. 6～3. 24
男性	骨折後のリハビリ	博愛会病院	R5. 3. 24～
女性	左腕骨折	労災病院	R5. 3. 31～

(8)入居相談状況

①相談方法別(件)

電話	来舎見学
15	5

②相談者別(件)

本人	家族	関係機関	その他	合計
5	9	4		18

(9)研修

外部研修	日付	研修内容
虐待防止対策研修会	2月21日	高齢者虐待における基礎知識と権利擁護
事故防止対策研修	3月20日	医療福祉現場における事故防止のリスクマネジメント
身体拘束廃止研修		身体拘束を学ぶ ※コロナ感染状況により中止
その他	12月7日	介護現場に活かせるコミュニケーション技術の向上
	3月23日	認知症の理解とケア

内部研修	日付	研修内容
感染症対策研修会	6月28日	感染性予防のための体調管理(脱水について)
	11月25日	防護服の正しいつけ方
身体拘束廃止研修会	9月29日	身体拘束について

(10)趣味・余暇活動実施と評価

活動名	実施日	内容	総評価
あじさい喫茶	9月	敬老会 & 喫茶	今年度もコロナウイルス感染症が流行し、人が集まり飲食をすることが難しく、喫茶は敬老会のみとなった。敬老会では和菓子、洋菓子を用意し、好きなお菓子を選んでいただき入居者に喜んでいただけた。コロナ感染症が収まったら入居者により楽しんでいただける喫茶を企画していきたい。
ヨガ教室	毎月1回	講師の指導のもと、その人に応じた姿勢を保ち呼吸法に合わせ、マットや椅子を使用して無理のない動きでゆっくり体を動かす。	今年度は新型コロナウイルス感染症が流行したため中止となる。
押し花教室	毎月1回	フォトスタンド、ミニ色紙、コースター、しおり、ハガキ	今年度もコロナ感染性がなかなか治まらず開催することが難しい状況が続いた。3月になり感染者も落ち着いたため数か月ぶりに押し花教室を行うことができた。楽しみにされている入居者も何人か居て開催された日は楽しそうに参加をされていた。作品作りを通じて個性の発見や会話を楽しまれ、また新しく入居された数人の参加者にも楽しんでいただけた。
いきいきクラブ	5月	動物ふれあい	概ね月一回のペースで行うことができた。折り紙で作品作りをし、指先を使い脳の刺激と他者との交流で生活に潤いをもたらした。転倒予防やけがの予防にストレッチ体操を積極的に取り入れた。脳トレやミニゲームでゲーム感覚での頭の体操を行った。いきいきクラブが実施できない月には脳トレのプリントを配り、自分のペースで行えるようにした。昨年までいきいきクラブについてのアンケートを毎年初めに行っていたが、次年度の計画に反映できるように年度末にアンケートを行った。感染症予防の観点から今年度も外部講師の講習などは行わなかった。
	6月, 7月	ミニゲーム・紙ふうせん遊び ストレッチ体操・脳トレ	
	8月, 9月	ストレッチ体操・ミニゲーム 折り紙作品作り(もみじの壁飾り)	
	10月, 11月	ウォーキング 折り紙作品作り(クリスマスの壁飾り)	
	12月	ストレッチ体操・お正月〇×クイズ	
	3月	アンケート	
園芸クラブ (草花)		施設周辺に季節の草花を植え、散歩コースを造る。珍しい植物を植えたり、草取りもし、入居者と共に話題づくりをする。	植物の成長を見ることで季節感を味わっていただけた。庭にできた季節の草花を入居者の方と一緒に摘み共用スペースや居室に飾り、入居者にも喜んで頂けた。お元気な入居者で草抜きや枯葉集めを積極的にして下さる方がいて助かっている。
園芸クラブ (野菜)		季節に応じて大根・玉葱・さつまいもを植えて収穫する。又、収穫した野菜はそのまま、或いは加工しふるさと祭りなどで販売することで入居者の作業意欲へと繋げることを目的としている。	今年度は行事で使うトウモロコシ、大根、サツマイモなどを作ることができた。来年度もハウスを利用した様々な野菜を計画的に栽培し、販売していきたい。また、新鮮な野菜を食材で提供させていただき、入居者のみなさんに喜んでいただきたいと思う。
おでかけでえ	毎週月曜日と不定期	スーパーへの買い物援助、外食計画援助、市内での催し物(希望外食・講演会など)外出計画援助	新型コロナウイルス感染症により催し物などは中止した。週1回の買い物は感染性拡大時には中止し、職員で代行した。感染が落ち着いた6月は2回、3月からは大型スーパーを近隣のスーパーに変更して行うことができた。

(11)行事・交流事業・各会議実施状況

月	日	行事名		地域交流行事	会議
		内容	日		
4	1	花見ドライブ(1棟)			企画運営会議
	2	花見ドライブ(2棟)			サービス調整会議
	8	お花見食事会(1・2棟)			給食委員会
	10	あじさいの会			
	22	茶話会			
	28	健康診断			
5	8	母の日の贈り物			企画運営会議
	10	あじさいの会			サービス調整会議
	24	いきいきクラブ			給食委員会
	25	昼食出前食事会			感染症対策委員会
	27	茶話会			
6	7	いきいきクラブ	5	町内会川掃除	企画運営会議
	12	あじさいの会			サービス調整会議
	19	父の日の贈り物			給食委員会
	23	茶話会			
	28	避難訓練			
7	5	七夕飾り			企画運営会議
	10	あじさいの会			サービス調整会議
		選挙送迎			給食委員会
	22	いきいきクラブ			感染症対策委員会
8	4	コロナワクチン4回目接種		夏休みフリー塾(公民館)	企画運営会議
	8	あじさいの会		※コロナ感染状況により不参加	サービス調整会議
	19	いきいきクラブ			給食委員会
	31	茶話会			
9	6	あじさいの会			企画運営会議
	9	健康診断(深夜勤務者)			サービス調整会議
	15	お月見会(夕涼み会)			給食委員会
	22	敬老会&喫茶			
	24	いきいきクラブ			
10	13	あじさいの会			企画運営会議
	14	いきいきクラブ			サービス調整会議
	19	ミニスポーツ大会&芋煮会			給食委員会
	20	インフルエンザ予防接種			感染症対策委員会
	27	茶話会			
11	6	あじさいの会			企画運営会議
	14	いきいきクラブ			サービス調整会議
	21	秋の遠足			給食委員会
	25	避難訓練			
	29	コロナワクチン5回目接種			
12	8	あじさいの会			企画運営会議
	21	あじさい忘年会			サービス調整会議
	22	福祉みかん受け取り			給食委員会
	26	いきいきクラブ			
	27	茶話会			
1	6	初詣			企画運営会議
	9	あじさいの会			サービス調整会議
	13	漬物袋詰め			給食委員会
	17	とんど焼き			感染性委員会
	23	茶話会			
	27	ふるさと祭り&新年会			
2	14	バレンタインの贈り物			企画運営会議
	22	茶話会			サービス調整会議
3					給食委員会
	3	桃の節句			企画運営会議
	6	あじさいの会			サービス調整会議
	23	茶話会			給食委員会
	29	避難訓練			

※毎月一斉清掃を入居者さんに参加していただき行っています。

デイサービスセンターふるさと事業報告

(令和4年度)

1. 基本方針

在宅で生活している認知症高齢者を対象として、可能な限り自宅で、その有する能力に応じて、自立した質の高い生活が出来るよう、プライバシーを守り、的確な支援を行っていく。また、介護者や家族の相談や情報提供に積極的に取り組み、介護者の心身にわたる介護負担や、不安を軽減し、ゆとりある介護を生み出していく。そして、このことにより、認知症高齢者の心の安定を図り、生き生きとした暮らしづくりへとつなげていく。

「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」というケアの方針を基に、画一的なケアではなく、以下の6つの方針を持って認知症高齢者一人ひとりに合った援助を行い、「情」を大切にしたゆとりあるケアを行っていく。①独りぼっちな気持ちにさせず、話し相手があること。②適度な心地よい刺激がある。③くつろげる、家庭的な環境にある。④その環境に自分の居場所があるという実感がある。⑤強制ではなく「したいこと」ができる。⑥生きがいや出番・役割がある。そのため、介護保険の枠内だけのケアではなく、外出支援などQOLの向上を図る為に必要な援助を積極的に実践していく。

また、地域に開かれた「ふるさと」をめざして、地域住民との交流や地域ボランティアの受け入れを他部署と連携協力し、積極的に行っていく。

2. 令和元年度重点目標に対する評価・反省

(1) 安定した運営が行えるように、利用者の確保と、業務改善に取り組む。

① 事業所のPR、広報活動を行う。定期的にブログを更新し、情報発信を行う。

- ・コロナウイルス感染症予防の為、毎月の利用状況のお知らせ、利用実績はfaxでの連絡を行い、その他連絡があれば電話での情報の交換を行っていった。
- ・ホームページの活用が出来なかった。ホームページを見て連絡下さった方もおられるので、新しい情報が発信出来るよう、努めていきたい。

② 各職員が意識を持って利用者確保に努める。

- ・コロナウイルス感染症の影響で、休業、又は利用を休まれた方がおられ、利用者、収入減の時期はあったが平均的にいうと、収入的には好調な年だったと思う。
- ・空き状況の問い合わせが何件もあり、定員や受け入れ態勢の状況でどの曜日でも受け入れ出来る状況ではなかったが、その都度受け入れ出来る曜日をお伝えしていった。
- ・新規の利用者が徐々に利用回数が増えて下さっている方が多く、ケアマネージャーから、ご家族から「良い所を紹介して下さいありがとうございます。」と言って下さっているという声も頂いた。

③ 職員一人ひとりの介護技術を向上させ、効率的な人員配置を行う。

- ・利用者確保の為、選ばれる事業所になる為に職員の資質の向上、援助内容の改善など、その都度行っていった。
- ・職員一人一人が利用者様の事を考え、その方を想った声掛け・援助が出来るようになってきていると思う。

④ 経費の節約を計画的に取り組む。

- ・使用していない照明、浴室の冷暖房など細めに消すよう徹底した。
- ・又消耗品の購入先をその都度検討し、経費削減に取り組んだ。

⑤ 法人内の介護保険事業所と定期的に連絡を取り、介護保険の情報や、周辺の介護保険事業所の情報を交換し、事業所間の連携力を高める。

- ・毎月1回定期的実施されるサービス調整会議に参加することで、法人内の介護保険事業所との連絡・調整・連携など図れている。

- ・周辺の介護保険事業所との情報交換については、連絡を細かく取るなどして取り組んでいきたい。
 - ⑥ 独自の自己評価（事業所及び職員個人）を実施し、意識改善、業務改善に努める。
 - ・事業所の評価については、岡山市の自己点検シートを使い評価を行い、業務改善に努めた。
 - ⑦ 通所介護における、各種マニュアルを作成し、全職員のケアの統一に活用する。
 - ・職員同士のコミュニケーションを図る中で情報の共有や、ケア方針の検討を行っていった。今後もケアの統一を図っていけるよう、ケース検討会も行っていきたい。
- (2) 認知症介護の専門性と質の向上、科学的根拠(理論)に基づいたケアの重視。
- ・コロナウイルス感染症の影響があり、研修自体の参加への機会が少なかった。コロナ禍研修に参加する以外の方法での質の向上の方法を確立していく必要がある。来年度は、情報誌の定期購読を行うようにしたので、情報源、資質向上の一環に役立てていきたい。
- (3) 特色(専門性)のあるサービスを実践し、地域から信頼される事業所にしていく。
- ① 職員間のコミュニケーションを積極的に行い、小規模ならではの家庭的な雰囲気を大切に「ふるさと」で安心して過ごして頂き、利用者が継続して在宅生活を続けていけるような支援を行っていく。
- ・職員個々が利用者の事を考え、安心して過ごして頂けるのにはどう支援を行っていったらよいか検討を行いながら支援する事が出来ていると思う。
- 実施するに当たっては柔軟な対応が出来る職員の確保や通常の営業時間帯の職員数確保、安全な環境など様々な問題を考え実施出来るように検討を行う。
- ② 「ゆっくり」、「一緒に」、「楽しく」、そして「その人らしさ」を大切にしていく。
- ・部会をする時間の確保が難しく、行うことが困難な状況であった。職員間で状況をみながら相談を行いながら対応を行っていった。細かい連絡事項を目につきやすいで統一出来る対応が出来るように行っていった。
 - ・ゆっくり、落ち着いて利用できる入浴環境、介護機器等を整備し、入浴困難な認知症高齢者を積極的に受け入れ、気持ちよく入浴していただく。
 - ・利用者ひとり一人の身体状況にあった浴室で、安全を確保しながらゆっくりと個人のペースに合わせて入浴していただいた。
- 入浴対応は1対1になるので、困難な方がおられた時は検討会を行い、職員・利用者様が気持ちよく入浴・入浴対応出来る環境を作っていきたい。又、その方の身体機能に合わせなるべく気持ちよく入浴して頂ける環境作りの為、必要な物品があれば導入していきたい。
- ③ 他の事業者で、利用困難な方でも、「ふるさとなら大丈夫。」と思われるようにしていく。
- ・認知症対応型、少人数、個別対応ということで、今まで紹介がなかった居宅介護支援事業所からの利用、問い合わせがあった。
- 空き状況に余裕がない状況があり、問い合わせがあった方とのご都合と合わずにご利用に繋がらない事もあった。
- そんな中でも、少人数・認知症対応型ならではの利用者を受け入れ、利用に繋がれた事もあった。
- ④ 認知症対応型通所介護事業所ならではの細やかな対応を重視し、BPSD（周辺症状）の出現を回避する為の環境整備に積極的に取り組み。
- ・その方の性格や認知症症状に合わせ、落ち着いて過ごせる環境作りを行っていった。
- (4) 地域のボランティアによる余暇活動を積極的に取り入れていく。
- ① 地域の活動にも参加していき、地域の社会資源の活用を検討していく。
- 福文舎全体での地域との交流行事は、今年度もコロナウイルス感染予防の観点から中止が

殆どであった。

昨年度に引き続き、個人ボランティアの方が来て下さっており、利用者様との良い交流を行って下さっていたが、家庭の事情で来て下さる事が困難になってしまった。

(5) 安全管理及び衛生管理を研究し、取り組んでいく。

① ヒヤリハットの考え方を事故防止に定着させる。

・記録を残すという事が今年度は、行えていない。職員個々が意識を持ち、記録を残し、意識付けをするという事を改めて行えるよう実践していきたい。

(6) 食事の提供方法を再検討していく。

① 人員を割く事が難しく、給食委員会に出席出来ない事が多かった。

感染症予防の為、外食やおやつ作りなども控えさせていただいた。

出前をとるという形で、ケアハウスと合同で実施させて頂き、食事に変化を持っていただいた。

外出出来ない方、外出する事に気が進まない方もおられるので、出前という形でご自分で食べたいメニューを選ぶ、いつもと違った食事をするという事が出来、喜んで下さっている。感染状況が落ち着いてくれば、おやつ作りなど、食の楽しみが持てる機会を増やしていきたい。

又、口腔内の問題で、食が進まない方もおられる。口腔ケア、嚥下、にも視点をおき、口かた楽しく食事が摂れるよう様々な面からアプローチしていきたい。

② 担当職員が責任を持って既製品の購入やお菓子作りなど実施してきた。

今年度は、畑でさつまいもを植え皆で収穫、出来たさつまいもをふかしいもや焼き芋にして食べて頂いた。又、植えている柑橘類をいただきおやつに使わせていただいた。

果物やさつまいもはおやつにお出しすると好評だった。来年度も収穫したのものを使ったおやつの提供やおやつ作りを実施していきたい。

3. 事業内容

サービス内容、重点目標他についての評価・反省

(1) 送迎 家族の状況・ご本人の生活リズムに合わせ、要望に出来るだけ答えられるよう対応を行っていった。

又、自宅での排泄介助が難しい利用者に対し、お迎えに行き、そのまま来て頂き援助も行った。

今後も同様に柔軟な対応が出来るよう、サービスが使いやすいような対応を行っていきたい。

(2) 家族の支援 認知症を抱える御家族の精神的な介護負担は大きく、支援・サポートの必要性を感じる。送迎の際に相談やご利用の様子をお伝えし、家での様子をお聞きしたり、お会い出来ない場合は電話での連絡を行い、相談援助を行っていった。

運営推進会議を今年度は感染症予防の為集まったの会を行っていないので、来年度開催出来る状況になれば、御家族の方に参加をお聞きし、交流や御意見がお聞き出来る場を設けていきたいと思う。

(3) 事故発生 数件転倒事故が起こった。病院受診に繋がるような事故は起らなかったが、職員の介護技術、危険予知、の面でも資質の向上の必要性がある。

(4) 相談・苦情等 相談については、その都度担当者会議の時、送迎時、電話などで行って

いった。苦情については、特に上がらなかった。苦情も言えるような関係を作っていきたい。

コロナウイルス感染症による影響

昨年度に引き続き、行事の縮小、中止になる事が多かったが、接触を控えて出来る行事を摸索し工夫を行うことで、行えた行事もあった。

職員または、職員の家族が感染し、隔離期間中職員が休むという事が数回あったが、職員から利用者に感染するという事はなかった。

1月末に利用者(ケアハウス入居者)が感染、その利用者と接触があった職員が感染し、ケアハウス入居者対応応援人員の確保や、同一建物であり感染予防を行いながら営業を行う事が困難だった為、6日間営業を休み、その後5日間地域利用者、1棟入居者利用者のみ交流棟で対応するという形で営業を行った。

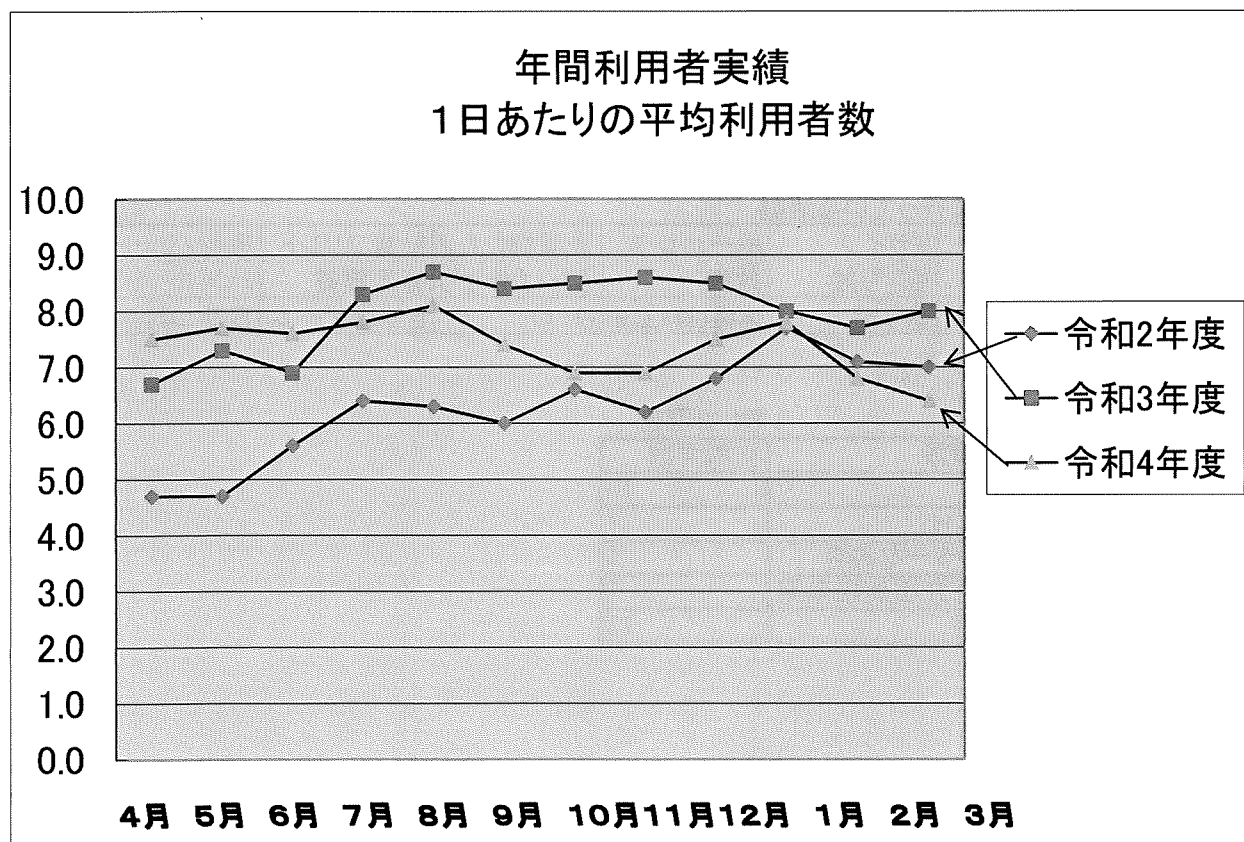
又、支援が必要な地域利用者やケアハウス入居者に訪問して必要な支援を行っていった。

幸い感染する事により重症化された方はおられなかったが、営業を休んでいる間身体状況が悪化し在宅生活が困難になってしまった方はおられた。

又、その期間、予定していた行事を行う事が出来なかった。

令和3年度年間利用実績(資料)

	利用者状況					
	利用者人数	開所日数	月延利用人数	1日平均利用人数		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	16	25	196	4.7	6.7	7.5
5月	15	24	185	4.7	7.3	7.7
6月	15	24	186	5.6	6.9	7.6
7月	15	23	180	6.4	8.3	7.8
8月	16	25	203	6.3	8.7	8.1
9月	15	24	178	6.0	8.4	7.4
10月	13	23	159	6.6	8.5	6.9
11月	13	22	152	6.2	8.6	6.9
12月	13	22	166	6.8	8.5	7.5
1月	13	18	140	7.7	8.0	7.8
2月	13	17	110	7.1	7.7	6.8
3月	13	23	148	7.0	8.0	6.4
合計	170	270	2,003	6.3	8.0	7.4



介護度別登録数(R4.3現在)

	男性	女性	合計	(人)
介護度5		0	0	
介護度4	1	1		
介護度3		2		
介護度2		3		
介護度1		5		
要支援2		1		
合計	1	12	0	
平均年齢	82.0	86.9	84.5	

行事实績表

月日	行事名	月日	行事名
4月8日	お花見食事会	10月13日	誕生日会
5月25日	出前食事会	10月19日	芋煮会
6月27日	誕生日会	11月25日	誕生日会
6月28日	避難訓練	12月16日	お誕生日会
7月6日	七夕会	12月21日	クリスマス・忘年会
7月6日	誕生日会	12月27日	お誕生日会
7月29日	誕生日会	1月27日	新年会
8月15～19	夏祭りレクリエーション	3月3日	お雛祭り
8月19日	誕生日会	3月29日	避難訓練
8月23日	誕生日会		
9月1日	誕生日会		
9月9日	誕生日会		
9月22日	敬老会		

上記以外日常的に行っている活動

脳活性療法	ドライブ	ボールレク	洗濯物たたみ	計算プリント	風船バレー
回想法	ちぎり絵	散歩	うた・カラオケ	音楽鑑賞	パズル
かるた(ことわざ)	塗り絵	体操(棒・玄米)	R. O	ビンゴゲーム	日記つけ

登録利用者の状況

①ケアマネジャーの状況

R4. 3現在

居宅介護支援事業所	利用者数
福文舎	10
支援センターちやいむ	1
在宅介護支援センターなみき	1
アミューズ富永居宅介護支援事業	1
合計	13

令和4年度ヘルパーステーションあじさい事業実施報告

1. 事業内容

訪問介護及び予防訪問介護・日常生活総合事業・保険外自費サービスの月間利用登録者数は、44～48名で増減があまりありませんでした。ヘルパー職員の人員の増減もあり、利用者数と比例することもあり、利用者増といったことにはなっていません。

ケアハウス入居者利用者数は13～15名で昨年同様で、地域利用者数が多いのが現状です。(資料①・②) ケアハウス入居者の利用者数や内容に大きな変更はないので健康状態も落ち着いておられることは良い傾向かと思われる。2棟入居者におかれては、年度末、コロナ陽性者発生により、ヘルパーサービスの中止措置を取るなどにより、収益減の要因となりました。

新規で利用者を紹介してくださる居宅事務所は、福文舎居宅支援事業所以外からたくさんあり、依頼のある利用者住所や居宅事業所は、南区南地域、南区西地域や中区地域などからの連絡もあるため、(資料④) ヘルパーステーション事務所から少し遠くても、対応可能な内容であれば、お受けするようにしている。しかしながら、ヘルパーの体調や家庭等の諸都合により、配置出来ずお断りせざるおえないことも多く、利用者増に至っていないのが現状である。

ケアハウス入居者の利用してくださる方は、掃除・洗濯といった生活援助週1回程度での利用が依然として多い。同一敷地内減算という計算方法となるものの、出来にくい部分のみヘルパーに委ねることで、心身の安定した生活が送れておられているようで、入居者様の中でも長期に渡り利用してくださる方も多く、安定した収益になっていると思われる。

地域利用者に関しては、要支援者の生活支援訪問サービス(いわゆる家事支援)での依頼がほとんどである。日常生活支援総合事業の生活支援サービスの対応をしないヘルパー事業所がやはり多く、依頼が集中している状況に変わりはない様子。今までお付き合いのない居宅介護支援事業所からの紹介もある。その場合、可能な限りお受けしたく、ヘルパー配置調整を図るも、利用者の住所地による移動時間やヘルパー人員配置上、又は、希望日時と条件が合わず、お断りすることもある。利用者増確保には、新規居宅支援事業所と新規利用者の獲得が必須である。初めて、新規紹介いただいた事業所については、より一層の誠心誠意の対応を心がけていこうと思っている。

要介護者については、利用者数が年間であまり変わらず、生活援助利用件数の方が多いが、年度後半より、ケアハウス入居者の入浴支援や排泄介助といった身体に直接触れる、身体介護の件数が増えてきている。ケアハウス入居者対応時には、事務所と同敷地にあることで、訪問時間・回数のご希望に沿いやすい。地域利用者については、移動時間を加味して訪問時間を検討する必要あり、訪問先の場所によっては、ヘルパーの人選も必要にもなるため、お受けできる日時が限られてくるが、今後も身体介護・生活援助に関わらず対応出来るヘルパーがいるか否かで可能な限りお受けする体制をとっていきたいと思っている。

介護保険外自費サービスにおいては、昨年度あったペットの世話での依頼に加え、不定期であるものの室内の簡単な修繕・草取り、又、有償運送と併用した受診付き添いなど、具体的に何をしてほしいかの意向と費用負担をきちんと理解した上で、自費サービスの依頼くださっているため、満足していただけるようで、ある程度定期的な利用をしてくださっている方が一定数いる。自費サービスの利用料が他事業所に比べ安いことが、利用に際しての魅力のひとつのようである。近年の利用者の傾向として、公的保険だけではなく、より自分の意向に沿ったより暮らしやすい生活を求めておられ、それが叶うようにサービスを、求めているように思う。「自費サービス対応事業所である」ことを、もっと知っていただきさらに利用者を増やしていきたいと思う。(資料⑤)

看取り期の余命数ヶ月といった方の訪問依頼が時にある。ヘルパー数が増え、安定してくれば、

看取りケアも積極的に受けていきたいと思っている。看取り期を迎えた利用者や支えている家族の真の要望は何か、またどのように接すればその人らしい最期を迎えることが出来るのか、体調に変化がないか、訪問看護や訪問診療への連絡はいつすべきかなど、自分の持っている知識をフル稼働させながら対応にあたることになることや本人への告知の有無で対応も異なりまた、利用者本人だけでなく家族へのケアも必要となってくる。看取りケアは、ヘルパーにとって心身をすり減らし気持ちの切り替えに時間を要することもあるが、こういった経験をすることで、質のよいヘルパーが育つ機会にもなる。利用期間も短いため収益には繋がりにくいですが、看取りケアに関しては、まずはヘルパーステーションあじさいに相談しようと思っていただけるような気持ちをこめた支援をしていきたい。(資料④)

移送サービスについては、令和3年6月より有償運送を実働開始している。岡山市のホームページに記載されているので、利用希望のご本人様やパソコン・スマホを扱えるご家族からも直接問い合わせ連絡があり、居宅事業所からの連絡問い合わせも多くなった。ケアハウス入居者への対応を主の目的といていたが、地域の方々からの連絡も、定期的にある。運転者が限られていることや人件費の問題もあり、問い合わせの方々全てに対応出来ないが、利用者様の安全で安心出来る移動ツールとして、可能な限りお受けしていきたい。

2. 活動内容

① 事業内容

身体介護においては、可能な限りお受けし対応させていただきたいと思っている。毎日の同じ時間帯での帯状の対応が難しいため、身体介護利用件数が伸び悩んでいる。しかしながら、入浴介助や排泄介助での依頼も増えてきているので、安心安全に留意しながら対応にあたっている。生活支援においては、初回訪問開始時に決めた訪問回数に大きな変化がなく、家事支援を担うことで安定した生活を送れている方が多いようである。

現在居るヘルパーで、対応可能な時間帯を当て込み訪問を行っている。急な入院・施設入所により、突然訪問先がなくなることもあるが、長い期間をおかず、訪問依頼のお声掛をいただいている。ヘルパーの定着のためにも安定した訪問件数の確保は常に課題である。

保険外自費サービスに関しては、依頼から具体的に何がしてほしいか明確な場合が多いため、各ヘルパーの得意分野を生かした配置も可能となってくる。いかにその人らしい暮らしを支えることが出来るか、どういった依頼もお受け出来る事業所体制を整えていきたい。

又、どんなニーズにも対応出来るヘルパーの育成が必要と思われるため、積極的に研修への参加を行っていきたい。

あらゆる状況で、どういったサービスでも長く在宅生活で暮らしていただけるよう生活環境・家族状況体調変化にもいち早く気付けるよう、サービス提供責任者からは的確な指示を行うこと、又、各ヘルパーには利用者に生活や生命をあずかっているという意識確認を図ること、ヘルパー間でも情報を共有し、知り得た情報を責任者へ確実に報告することを徹底していくことで、長期定期に安定した生活を支えていけるのではないかと考える。

② 研修

新型コロナウイルス感染状況が改善されない中、オンライン研修・リモート研修が主流となってきた。そういった研修を受けていただきたいが、ヘルパー職員がコロナ濃厚接触者となり、出勤出来ない日々があり、訪問対応優先により、施設外の研修に参加できていない。そういった実情もあるため、施設事業所内研修に力をいれている。外部研修は、最新の制度の動向や介護・技術情報を知り得ることができ、他事業所の利用者状況・経営状況など情報交換のためにも可能な限り参加を促していきたい。事業所内研修については定期購読させていただいている

資料を上手く活用しながら、研修を行ってきた。サービス提供責任者としての職員育成のため研修を今後も行っていきたい。制度改正についての勉強や考察力・観察力・予測力を養うための机上研修も積極的に行っていきたいと思っている。(令和4年度実施報告参照)

個々のヘルパーが、スキルアップのために必要な個人的参加希望の研修があれば、状況に応じて勤務調整を行い、しっかりと学べる環境を整えていく方針である。

③ 各関係機関との連携

居宅介護支援専門員(以下ケアマネージャー)との連絡調整が、主になってくる。利用者の担当するケアマネージャーに、訪問時の変化や要望を、随時、報告連絡し合うことは、出来ている。常に利用者の状態を観察・把握することで、利用者のニーズ把握に努め、利用者を支える「チームケア」の一員であることを意識し、適切な情報提供を行ってきた。これからも、より利用者の立場になって支援していけるようケアマネージャーの言葉にも真摯に向き合って、個々の利用者様の対応に望んでいきたい。

④ ヘルパーの健康管理及び衛生管理

新型コロナウイルス感染症予防対策を軸として感染症対策は継続して行っていきたい。ヘルパーと利用者に対して、マスク着用の徹底し、必要に応じての手袋着用・使い捨てエプロンの使用、手洗いや手指消毒の徹底を呼びかけてきている。

本年度は、ヘルパー職員が新型コロナウイルス陽性となり、濃厚接触者にて出勤停止したこともあった。岡山県・市からの通知通達をもとに、適切な連絡報告を行って対応した。これまでも、職員へは、感染予防対策を心がけるよう呼びかけてきたが、より一層の感染予防対策の徹底を再度認識してもらった。

我々が身につけるのは、エプロンである。不衛生にならないよう清潔に努めていく。

インフルエンザ等感染などその他の感染症を受けつけない又持ち込まない持ち出さないといった媒体にならないよう健康管理や衛生管理を徹底する。

⑤ 損害賠償

本年度、賠償を行ったケースはなかった。しかし、原因は様々であるが、気を付けていても破損させてしまう場合もあるかもしない。日ごろからの対応の丁寧さや信頼があれば、損害賠償に至らないケースもあるかもしれない。「いつもの通り」の対応が求められるが甘んじず、対応するヘルパー個々が心身を常に律することで破損・修繕件数をなくしていかなければならない。

3. 令和4年度ヘルパーステーション実施状況(別紙参照)

4. 介護度・月別利用者数(別紙資料①)

ケアハウス・地域利用者数(別紙資料②)

自費サービス利用時間数・収入・人数(別紙資料③)

関係する居宅介護支援事業所(別紙資料④)

訪問内容利用回数(別紙資料⑤)

介護度・月別利用者数(資料①)

月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	12(15)	13(15)	12(15)	12(15)	12(13)	11(13)	11(13)	11(13)	12(14)	12(12)	13(12)	12(12)
要介護2	10(17)	12(14)	13(16)	12(12)	11(14)	12(15)	13(15)	13(14)	12(13)	12(13)	12(11)	12(11)
要介護3	5(2)	3(5)	2(5)	4(4)	3(5)	4(5)	4(4)	3(5)	5(5)	5(4)	5(4)	6(5)
要介護4	1(3)	2(3)	1(3)	2(4)	3(3)	4(3)	3(2)	1(2)	1(2)	1(2)	0(1)	0(1)
要介護5	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)
要支援1	7(6)	8(6)	8(6)	7(6)	7(9)	7(9)	7(9)	6(9)	7(9)	7(8)	7(9)	7(9)
要支援2	8(14)	8(13)	7(14)	10(13)	8(12)	8(11)	8(11)	10(11)	10(10)	8(9)	8(8)	9(8)
事業対象者	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	1(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(0)
計	44(58)	45(57)	44(60)	48(56)	45(57)	47(57)	47(56)	46(56)	48(54)	46(50)	46(47)	47(47)

ケアハウス・地域別利用登録者数(資料②)

月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護給付												
ケアハウス	13(15)	13(15)	12(15)	13(15)	13(15)	14(14)	15(14)	13(14)	13(14)	14(14)	15(11)	15(13)
地域	17(25)	17(23)	18(25)	20(23)	19(24)	19(26)	19(24)	18(23)	18(21)	17(19)	17(20)	16(16)
予防給付												
ケアハウス	2(1)	2(1)	2(1)	3(1)	3(2)	2(2)	2(2)	3(2)	3(2)	2(2)	2(2)	2(2)
地域	14(23)	14(20)	13(22)	14(19)	14(20)	15(20)	14(20)	13(20)	14(19)	14(19)	14(19)	14(17)
自費のみ	5(5)	5(5)	6(5)	5(5)	5(5)	6(5)	6(5)	6(6)	5(5)	5(5)	5(5)	5(5)
計	51(69)	51(64)	51(68)	55(63)	54(66)	56(63)	56(65)	53(65)	53(61)	52(59)	53(57)	52(54)

* 請求保留分あり、資料①と利用者数同数でない月あり。

19

自費サービス利用時間数・収入・人数(資料③) *1時間=生活援助2000円、身体介護2500円

R4. 4月	1h x 3	6000円生	1h x 1	2000円生	9月	1h x 3	6000円生	0.25h x 2	
計	0.5h x 1	1000円生	2h x 1		計	0.5h x 4	4000円生	0.5h x 1	
16500円	0.5h x 3		2.25h x 1	8500円生	39000円	0.25h x 9		1h x 1	4000円生
	0.75h x 1	4500円生	0.25h x 2	1250円生	6名	0.5h x 9	13500円生	0.5h x 9	
4名	1h x 1		1.25h x 1	3125円生	7月	0.25h x 1		0.75h x 2	
	1.5h x 1	5000円生	1h x 3	6000円生	計	0.5h x 1		1h x 2	20000円生
	0.25h x 7		45625円	0.5h x 3	6名	1h x 1	3500円生	0.25h x 14	
5月	0.5h x 9	12500円生	0.75h x 1	4500円生	10月	1h x 1	2000円生	0.5h x 5	12000円生
計	1h x 2	4000円生	0.25h x 9		計	2.5h x 2	10000円生	1h x 4	8000円生
22875円	0.75h x 1	1500円生	0.5h x 8	14000円生	10月	0.25h x 13		0.5h x 4	4000円生
	0.75h x 1	1875円生	0.75h x 1	14000円生	計	0.5h x 9	15500円生	1h x 2	
4名	0.5h x 3	3000円生	1h x 1		67500円	0.5h x 1	1250円生	1.5h x 1	7000円生
	1h x 3	6000円生	1.25h x 2	15500円生	6名	1h x 3	6000円生	1h x 3	6000円生
6月	0.5h x 5	5000円生	2.25h x 1	15500円生	12月	0.5h x 4	4000円生	0.5h x 4	5000円生
計	0.25h x 10		1h x 1	2500円生	計	1h x 3	6000円生	1h x 3	6000円生
41250円	0.5h x 5		1h x 3	6000円生	6名	0.5h x 4	4000円生	0.5h x 4	4000円生
	0.5h x 5		8月	6000円生	12月	1h x 1	7000円生	0.5h x 7	
	1.5h x 2	16000円生	計	5000円生	計	1.5h x 1	7000円生	1h x 2	16500円生
	0.25h x 2		24000円	5000円生	43750円	0.25h x 11			
	0.5h x 1	2500円生	3名	13000円生	6名	0.5h x 7			

1h x 1	5500円生	1h x 9	26500円生	0.5h x 4	5000円生	2.25h x 1	5625円身
1.75h x 1	37500円身	1.5h x 2	12000円生	1h x 1	2000円生	0.25h x 1	10625円身
0.5h x 3	6000円生	2.5h x 1	6000円生	1h x 2	5000円身	1h x 4	2000円生
1h x 3	2000円生	1h x 3	4000円生	1h x 1	2000円生	1h x 1	
1h x 1	6000円生	0.5h x 4	4000円生	0.25h x 12		0.5h x 1	
1h x 3	6000円生	0.25h x 14		0.5h x 9		0.75h x 1	
0.5h x 5	5000円生	0.5h x 6		1h x 1	17000円生	1h x 2	6500円生
0.5h x 4	5000円身	0.75h x 2	16000円生	0.25h x 1		1h x 1	2000円生
1h x 1	2000円生	0.75h x 1		0.5h x 1		1h x 3	6000円生
0.25h x 7		1h x 1		1.25h x 1		0.5h x 2	2500円身
0.5h x 5		1.5h x 1	6500円生	1.75h x 1	7500円生	1.25h x 1	2500円生
7名	計	6名	計	8名	計	9名	
R5. 1月		2月		3月			
計	46500円	計	46500円	計	62250円		

関係する居宅支援事業所・平成31年3月現在(資料④) * ()は前年度

居宅介護支援事業所名	介護給付	予防給付	居宅介護支援事業所名	介護給付	予防給付
福文舎居宅介護支援事業所	19(20)	5(6)	ケアメイトエール	1(1)	
在宅介護支援センターなみき	4(4)	2(1)	ういら居宅介護支援事業所		1(1)
岡山南地域包括支援センター		3(5)	アークケアプランセンター	1(0)	
リアインケアプランセンター	1(0)	2(1)			
あゆむ介護相談事務所	1(1)				
博愛会居宅介護支援事業所	2(0)	1(1)			
南岡山ナーシングホーム在宅介護支援センター	0(1)	1(1)			
アミューズ富永居宅介護支援事業所福富	1(2)	1(1)	計11事業所(昨年は11事業所)		

訪問内容別利用回数(資料⑤) * 介護給付は、同じ方に1日数回訪問も含め計算。

月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
身体介護	60(90)	58(105)	59(100)	63(112)	73(85)	84(75)	82(61)	79(64)	90(65)	97(45)	76(40)	97(61)
生活援助	118(162)	130(179)	138(166)	148(142)	145(141)	145(143)	145(152)	135(152)	140(160)	125(124)	108(115)	128(136)
身体生活	11(19)	27(15)	25(16)	27(13)	26(16)	26(12)	30(11)	32(15)	26(15)	41(22)	45(7)	50(18)
計	187(271)	215(299)	222(282)	238(283)	244(242)	255(230)	257(224)	246(231)	256(240)	263(191)	229(162)	275(215)

* 予防給付は1ヶ月に何回訪問しても1回として計算

生活支援Ⅰ	12(16)	12(16)	11(16)	12(16)	12(18)	11(17)	11(16)	12(17)	13(16)	13(16)	13(16)	13(14)
生活支援Ⅱ	1(2)	1(2)	1(2)	2(2)	1(2)	2(2)	2(2)	2(2)	2(1)	1(1)	1(1)	2(1)
生活支援Ⅲ	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
予防訪問Ⅰ	0(2)	0(1)	0(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
予防訪問Ⅱ	2(2)	2(2)	3(2)	3(2)	2(2)	2(2)	2(2)	2(2)	2(2)	1(2)	1(2)	1(2)
予防訪問Ⅲ	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	15(22)	15(21)	15(21)	17(20)	15(22)	15(21)	15(21)	16(21)	17(20)	15(19)	15(19)	16(17)

* 自費サービスの内訳

身体介護	0	1	2	2	0	0	1	1	1	1	4	3
生活援助	4	4	5	4	3	6	6	5	6	6	6	6
計	5	5	7	6	3	6	6	6	7	7	10	9

令和4年度 ヘルパーステーション実施報告

ヘルパー事業・施設関係		研修・会議		新規・更新サービス担当者会議他		
月	日	内容	日	日		
4	8	お花見会食	12	ヘルパー会議・ケース検討会	16	老健退所にてサービス担当者会議
	28	春の健康診断		集団指導について	26	更新サービス担当者会議
			13	企画運営会議	27	新規契約サービス担当者会議
		問い合わせ6件	13	サービス調整会議		
5	25	出前食事会	18	企画運営会議	6	リハビリ終了によるサービス担当者会議
			18	サービス調整会議	19	デイ利用開始によるサービス担当者会議
			27	企画運営会議②	24	新規利用サービス担当者会議
		問い合わせ3件			30	更新サービス担当者会議
6	28	避難訓練(夜間想定)	15	企画運営会議	6	新規利用サービス担当者会議
			15	サービス調整会議	15	内容変更サービス担当者会議
			21	ヘルパー会議・ケース検討会	17	更新サービス担当者会議
			21	新型コロナウイルス感染症対策について		
		問い合わせ7件	28	感染症対策研修会		
7			13	企画運営会議	6	更新サービス担当者会議
			13	サービス調整会議	21	新規契約サービス担当者会議
		問い合わせ4件	29	感染症対策委員会	28	内容変更サービス担当者会議
8		コロナワクチン4回目(希望者)	9	ヘルパー会議・ケース検討会	24	新規契約サービス担当者会議
				緊急時の対応について	31	更新サービス担当者会議
				食中毒・熱中症について		
			17	企画運営会議		
			17	サービス調整会議		
9		問い合わせ5件	23	事業所体制について打ち合わせ		
	9	宿直者健康診断	13	ヘルパー会議・ケース検討会	16	内容変更サービス担当者会議
	15	お月見会		プライバシー保護について	20	新規契約サービス担当者会議
	22	敬老会	21	企画運営会議		
10		問い合わせ5件	21	サービス調整会議		
	19	芋煮会	12	企画運営会議	13	新規利用サービス担当者会議
		運動会		サービス調整会議	21	新規利用サービス担当者会議
11		問い合わせ6件			26	内容変更サービス担当者会議
	25	総合避難訓練	8	ヘルパー会議・ケース検討会	29	内容変更サービス担当者会議
				ホームヘルパーに求められる医療知識		
12			16	企画運営会議		
			16	サービス調整会議		
		問い合わせ4件	25	感染症対策研修会		
			14	企画運営会議	1	新規利用サービス担当者会議
			14	サービス調整会議	9	内容変更サービス担当者会議
1			23	ヘルパー会議・ケース検討会	12	内容変更サービス担当者会議
				入浴支援後の掃除について		内容変更サービス担当者会議
		問い合わせ2件			22	更新サービス担当者会議
		ふるさと祭り&新年会	18	企画運営会議	11	内容変更サービス担当者会議
2			18	サービス調整会議		
			20	ヘルパー会議・ケース検討会		
		問い合わせ2件	30	看取りケアについて		
			15	企画運営会議	27	内容変更サービス担当者会議
3			15	サービス調整会議		
			17	ヘルパー会議・ケース検討会		
		問い合わせ1件	21	新型コロナウイルス関連について(最新情報)		
				ハラスメントについて(外部講師研修)		
	3	集団指導	8	企画運営会議	22	更新サービス担当者会議
3	29	避難訓練	8	サービス調整会議	22	内容変更サービス担当者会議
			20	リスクマネジメント(外部講師研修)	31	内容変更サービス担当者会議
			23	認知症の理解とケア(外部講師研修)		
		問い合わせ4件	28	ヘルパー会議・ケース検討会		

福文舎居宅介護支援事業所 事業報告

(令和4年度)

【事業目標取組結果】

(ア) 具体的に下記の取り組みを実践して、業務改善を行う。

(計画)

A) 公正中立な居宅サービス計画の作成。

○居宅介護支援の提供の開始に際し、あらかじめ利用者に対して、以下のことについて文書を交付して説明を行なう。

- ・利用者は、複数の指定居宅サービス事業者等を紹介するよう求めることができること
- ・利用者は、居宅サービス計画に位置付けた指定居宅サービス事業者等の選定理由の説明を求めることができること
- ・前6か月間に作成したケアプランの総数に対する、訪問介護、通所介護、地域密着型通所介護、福祉用具貸与がそれぞれ位置付けられたサービス計画の数が占める割合及び前6か月間に作成したケアプランにおける、訪問介護、通所介護、地域密着型通所介護、福祉用具貸与の各サービスごとの、同一事業所によって提供されたものの割合(令和3年度改定により追加)
- ・前6か月間について、毎年度2回、①前期(3月1日から8月末日)②後期(9月1日から2月末日)の期間に作成された計画を対象とし、居宅介護支援の提供の開始に際し、直近の①もしくは②の期間のものについて説明を行う。
- ・各サービス事業所は上位3位まで。説明を行うに当たっては、理解が得られるよう、文書の交付に加えて口頭での説明を懇切丁寧に行うとともに、それを理解したことについて必ず利用申込者から署名を得なければならない。
- ・重要事項説明書等を交付して説明・署名、確実に説明したことを記録に残す。

(実施結果)

・公正中立な居宅サービス計画の作成においては、サービス事業所の選定にあたって、複数のサービス事業所を紹介し、選定理由を説明した。利用者に求められれば、全6か月間に作成したケアプラン総数に対する、訪問、通所、福祉用具貸与事業所がそれぞれ位置付けられた理由の説明や、各サービス事業所は上位3位まで説明を行うようにし、必ずそれを理解したうえで署名を得ている。

(評価)

- ・そうしなければ、減算になるため、必ず、実施し、記録にも残すようにしている。
 - ・それぞれの利用者の家族、地域の環境や、性格や障害に合わせて、複数の事業所を紹介している。
- 紹介した事業所の実績は以下の通りとなりました。

通所介護事業所	16事業所
訪問介護事業所	12事業所
福祉用具貸与事業所	12事業所

(2) ケアプラン件数の適正化

B) 安定した持続可能な居宅介護支援事業を行う。

○居宅介護支援費の新区分の人員配置要件は、常勤の主任ケアマネ1人、常勤のケアマネ1人、非常勤のケアマネ1人を目標にする。(非常勤のケアマネに限り、ほかの事業所との兼務も認められます。)

○営業日・営業時間の変更

・営業日(現行)月曜日～金曜日(12/29～1/3を除く)

(変更)月曜日～金曜日(祝祭日、12/29～1/3を除く)

・営業時間(現行)10:00～16:30

(変更)9:00～17:00

*営業時間外は事業所固定電話から携帯電話への転送で営業日以外でも対応できる体制を確保する。

○担当利用者数の適正化

・一人当たりの担当利用者数(※2)=35名を目標にする。

○他法人との協力による事例検討会の開催在宅生活を支えていくにあたり、極めて小地域の中で民生委員・近隣住民等の地域との関わりは重要である。必要に応じ、個人的なネットワークを駆使しながら、積極的に連携を取っていくよう努めていく。

○以下の会議等においてはオンラインでの開催を可能にする。

・サービス担当者会議

・退院・退所加算の要件である面談およびカンファレンス

・特定事業所加算の要件である定期的に行われる会議(週1回程度)

*厚生労働省は新区分で、例えば以下の要件についてはほかの事業所との連携によって具体化することを可能とする意向を示している。

24時間の連絡体制の確保

事業所のケアマネへの計画的な研修の実施

実務研修の実習への協力

(実施結果)

・令和3年2月からケアマネ常勤2人体制となったが、令和3年4月から事務員を1名配置した。今年度は、職員募集をしていあが、職員の補充はなく、体制の変更はなかった。

・近隣の居宅介護支援事業所と同じ職場待遇にするため、営業時間及び、営業日の変更は、計画通りに実施できた。祝祭日の連絡体制を、混乱のないように、転送電話に切り替えることで、特に問題はなかった。

・担当者数の適正化の取り組みは、岡山市の条例では一人当たり34名以下、岡山市内のケアマネージャーの一人当たりの担当件数が、27名に対し、当事業所では、要介護者66名、要支援者24/2名(12名)合わせて78名、一人当たり39名となった。事務員を配置しているので、5名増やすことができるので、一人当たりの担当者数は実質34名となった。1名のケアマネージャー(非常勤可)を補充する必要がある。

・他法人との事例検討会は、居宅介護支援専門員協会が主催した事例検討会に参加することができた。

・オンラインでのサービス担当者会議、退院時のカンファレンスへの参加も参加した。

・社会福祉法人福文舎が計画する「感染症研修会」、「虐待に関する研修」に参加した。

・今年度も1名の介護支援専門員実務見学実習の受け入れを行った。

(評価)

・ケアマネの申し込みもあったが、条件に合わず、採用とはならなかった。

・昨年に続き、介護支援専門員の実務研修を受けて、積極的に福文舎居宅介護支援事業所をアピールするも、採用には至っていない。

・今年度は、ケアマネ一人当たりの担当件数が適正な件数を超えていたため、積極的に包括支援センターからの紹介を受けることができなかったが、担当件数は、サービス事業所や家族などの様々なルートから紹介者があり、ほとんど増減がなかった。

C) 職場におけるハラスメントにより介護支援専門員の就業環境が害されることを防止するための必要な措置を策定する。(岡山市基準条例第22条)

(実施結果)

・実施できず。

D) 感染症及び災害にかかわる業務計画を策定する。(岡山市基準条例第22条の2)

(実施結果)

・実施できず。

(4)その他

1)利用の相談・苦情への対応

・今年度、特記すべき苦情件数は、なかった。

2)各種請求事務

昨年度と同様、予防プランの請求は、メールでのやり取りとなり、事務量の軽減につながった。事務員の配置により、書類の整理をしてもらえることで、請求事務などの余裕ができた。

3)研修

コロナの影響で、今年度の研修もリモートになっていたが、コロナ感染予防の緩和が進むにつれて、会場での研修も、感染対策を行ったうえで、2件の参加ができた。

(資料1) 安否確認、F101 利用実績

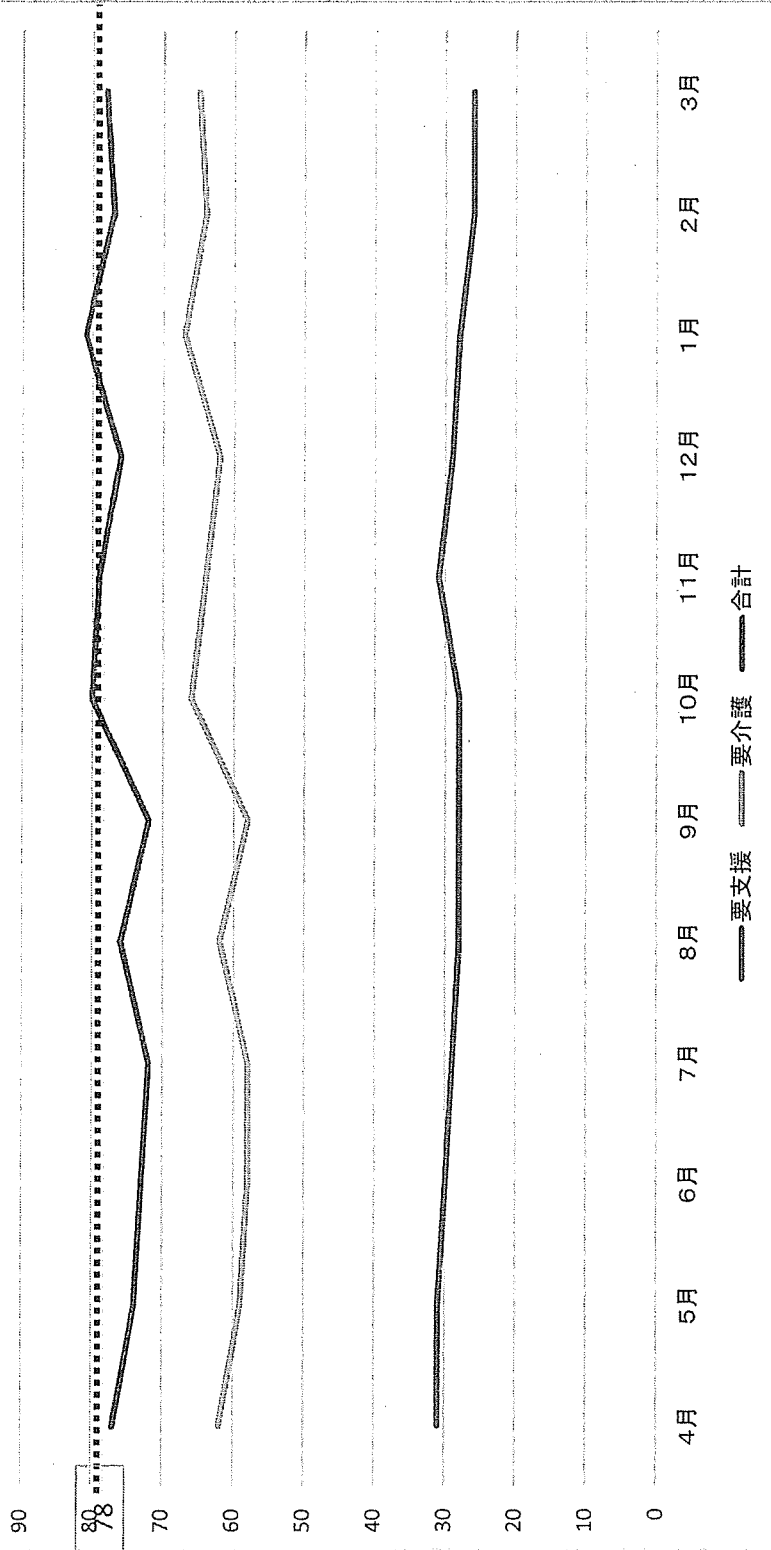
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間合計				
	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	合計	合計	占有率
支援1	0	10	0	10	0	10	0	10	0	9	0	9	0	10	0	13	0	13	0	13	0	12	0	12	0	131	131	12%	
支援2	4	17	4	17	4	16	4	15	5	14	4	14	4	14	4	12	4	12	3	12	3	11	3	11	46	168	214	20%	
介護1	10	19	9	19	10	19	9	20	9	20	9	19	9	19	9	18	9	19	9	20	9	21	8	21	109	234	343	31%	
介護2	7	10	7	9	7	7	7	7	6	8	7	9	8	10	8	11	8	10	9	11	9	10	9	10	92	112	204	19%	
介護3	2	5	1	8	2	8	1	7	1	9	1	9	1	10	1	10	1	10	1	11	1	8	2	9	15	104	119	11%	
介護4	2	7	1	4	4	4	1	5	1	6	1	2	1	6	5	5	4	5	4	5	5	5	5	5	7	58	65	6%	
介護5				1		1		1	2	2		1		2	2	2		1		1		1		1	0	14	14	1%	
支援計	4	27	4	27	4	26	4	25	5	23	4	24	4	24	4	27	4	25	3	25	3	23	3	23	46	299	345	32%	
介護計	21	41	18	41	19	39	18	40	17	45	18	40	19	47	18	46	18	44	19	48	19	45	19	46	223	522	745	68%	
合計	93	90	88	87	90	86	86	86	90	90	86	86	94	94	95	95	91	91	95	91	90	90	91	91	1090	1090	1090		
初回(支)	1		2										1	1	3		1	1							0	9	9	25%	
初回(介)	1	1	2	1		4	2	2	1	2		2	1	2			1	1	2	1	2	1	1	1	5	18	23	64%	
入院I	1		1																							2	1	3	8%
入院II																										0	0	0	0%
退院1有																	1									0	1	1	3%
退院1無																										0	0	0	0%
退院2有																										0	0	0	0%
退院2無																										0	0	0	0%
退院3無																										0	0	0	0%
ターミナル																										0	0	0	0%
加算計	2	2	1	1	0	5	0	1	0	4	0	2	1	3	0	3	1	3	1	2	1	0	1	1	2	7	29	36	
訪問調査																										0	0	0	
支援報酬	119,970	119,970	116,100	112,230	108,360	108,360	108,360	108,360	108,360	108,360	108,360	108,360	108,360	108,360	119,970	119,970	112,230	112,230	108,360	108,360	108,360	100,620	100,620	100,620	1,335,150	1,335,150	(円)		
介護報酬	907,924	863,266	849,452	849,452	917,572	671,056	671,056	849,452	917,572	748,710	748,710	776,746	776,746	776,746	748,710	748,710	720,674	720,674	781,083	781,083	781,083	739,029	739,029	756,274	9,581,238	9,581,238	(円)		
加算報酬	11,231	5,105	14,294	3,063	12,252	6,126	3,063	3,063	12,252	12,252	6,126	12,252	12,252	12,252	9,189	9,189	15,315	15,315	9,189	9,189	3,063	3,063	3,063	9,189	110,268	110,268	(円)		
報酬合計	1,039,125	988,341	979,846	964,745	1,038,184	785,542	664,745	964,745	1,038,184	785,542	785,542	897,358	897,358	897,358	877,869	877,869	848,219	848,219	898,632	898,632	842,712	842,712	866,083	11,026,656	11,026,656	(円)			

(資料2) 令和4年度ケアプラン件数集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	31	31	30	29	28	28	28	31	29	28	26	26	345
1/2	15	15	15	14	14	14	14	15	14	14	13	13	170
要介護	62	59	58	58	62	58	66	64	62	67	64	65	745
合計	77	74	73	72	76	72	80	79	76	81	77	78	915

居宅ケアプラン件数

件数



岡山市条例
1人34件まで
福文舎では事務員配置
により5件増やせるため、
2人で78件